



▲石巻市：津波に流され、交差点をふさぐ船



▲気仙沼市：鹿折地区を視察する左官防災対策顧問



▲気仙沼市：津波被害を受けた住宅地



▲陸前高田市：陸前高田市役所周辺



▲南三陸町：南三陸町役場防災対策庁舎



▲相馬市：原釜地区の被害状況



▲女川町：津波に流された電車



▲女川町：津波で倒された建物

視察を行った市町



▲左官正雄（さかままさお）氏
昭和42年、陸上自衛隊入隊。平成2年に陸上幕僚幹部。第13飛行隊長、東部方面ヘリコプター隊長、飛行実験隊長、航空学校総務部長等の要職を歴任され、平成16年退官。同年4月、愛媛県の危機管理監を勤められた後、平成22年4月から西条市防災対策顧問。

水に水没している等の状況からは、生活の再建の厳しさを感じざるを得ません。さらに被災地やその周辺では、ライフラインが止まり、食糧や燃料が不足し、気温が氷点下まで下がる雪の中で十分な暖房もなく、着の身着のまま避難された方も多く避難生活は厳しい状況にあります。特に高齢者にとっては厳しい環境での避難生活となっています。

しかし、そのような中にあっても被災地の人々は、節度を守り、秩序正しく、劣悪な環境に耐えながら互いに助け合い、励まし合いながら頑張っておられます。

この震災を通して、今私たちがやらなければならぬことは、自分にできることで被災地の人々を支援すること、近い将来発生すると予測されている南海地震への備えにしっかりと真剣に取り組むことではないでしょうか。

東日本大震災の被災地が、一日も早く復興されることを願って、視察報告とします。